NIE実践報告

1．タイトル：社会を見る目につながる基礎・基本を身につけ、課題解決していく学習のあり方

2．学校名

長野県下高井郡山ノ内町立山ノ内中学校

3．実践者名（代表者名）

臼井　理

4．学年

第３学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会（選択）　18人

6．単元（本時の学習課題）名

自分が作ったスクラップ新聞をさらによいものにしよう！

7．目標(狙い)

自分の制作したスクラップ新聞のいいところや問題点について、制作当初の自分の願いにそって振り返り、友だちのアドバイスを参考にして、見通しを持ちながら改良することができる。

8．評価の視点

自分のスクラップ新聞の改善点を考える上で、その改善点が内容面なのか、構成面なのか、表現方法なのかがわかりやすくなるように指導したことは、見通しを立てる上で有効であったか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

年間35時間の選択教科(社会)のうち、5時間で新聞スクラップを制作し、文化祭での発表後にさらに5時間の小単元として設定した。本時はその5時間のうち3時間目。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①　自分の制作したスクラップ新聞を見返し、自己評価をしたり、友だちの作品を評価したりしよう。（2時間）
②　グループに分かれて、自分の制作したスクラップ新聞に対する友だちのアドバイスを聞き合って、新聞を改良する見通しを立てよう。(1時間)
③　友だちからのアドバイスを生かしながら、自分で立てた改良の見通しに沿ってスクラップ新聞を改良しよう。(2時間)

(留意点)
- 友だちの作品を評価する際にアドバイス・カードにまとめさせる。
- 改良の見通しを立てるときに、内容面、構成面、表現方法の3つの視点に分類・整理させる。
- グルーピングでは、それぞれの生徒の興味・関心のほか、内容や課題も考慮して分ける。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

アドバイス・カードが有効に機能した生徒が多く見られた。また、友だちとの関わりの中から改良の見通しを立てられる生徒は見られた。しかし、自らが選択したスクラップ新聞のテーマそのものが、一人ひとりにとって必要感に迫られたもの、興味・関心が高かったものかどうかというと、不十分だった点が否めない。

12．成果と課題

友だちのアドバイスを参考にしながら、自分の課題(より伝わりやすいスクラップ新聞に改良する)解決に向けた方法を考え、実行するということ、友だちとコミュニケーションを取りながら表現力・発信力を高めることはある程度できてきた。しかし、そもそも、課題を設定する力、社会の中から、生活の中から課題を課題としてとらえる力を高めるための支援のあり方を、新聞を活用しながら進めていかなければ、結局“言われたことはよくやるけど…”という姿は変わっていかない。